



ひじ 議会だより

2010

No. 81

題字は南端中3年 わかやま 若山 みどり さんです

平成22年7月28日 (年4回発行)

発行：大分県日出町議会

電話：73-3135



夏大好き！プール大好き！（協力：日出保育園）

目次

- 議会改革・活性化の推進（補正予算審議） …… 2
- 常任委員会 …… 4
- 一般質問 …… 6
- 町民の声 …… 12

現在、多くの市町村で活発に議論されている議会改革・活性化は、行政監視機能にとどまらず、住民参加を最も重要な項目とし、住民の皆さんの多様な意見を的確にとらえた議会による政策提案を拡大することが大きな柱です。

新たな予算常任委員会で集中審議

議会改革の一環として、これまでの所管予算の委員会付託をやめ、委員会所管の特定の予算に限らず、議員一人ひとりが予算全般を把握し審議するための予算常任委員会を設置しました。一般会計・特別会計はもちろん、補正予算も今後すべて予算常任委員会で取り扱います。

平成22年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2903万8千円を減額し、総額87億696万2千円になります。

歳出の主な補正

雇用創出

地域の雇用失業情勢が厳しいなかで、離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年者などの一時的なつなぎの雇用機会を創出するための国の交付金による事業です。

- 町のホームページをわかりやすく使いやすいものにするために改善、併せて英語・中国語標記も充実させてリニューアルする事業 **220万円**
- 保健師・栄養士が各家庭を訪問し、健康指導を行う事業 **683万円**
- 漁港台帳を電子化する事業 **703万円**
- 二の丸館の管理を円滑に行うための事業 **296万円**

火災警報器補助

住民税非課税で65歳以上の独居の世帯に火災警報器の設置を上限5千円で補助する町単独事業 **300万円**

女性特有がん検診

昨年度に引き続き行われる子宮頸がん・乳がんの検診、クーポンなどの作成委託料 **389万円**

真那井漁港浚渫

土砂のたい積で漁船の操業に支障をきたしている真那井漁港の浚渫工事費 **2020万円**

観光事業

二の丸館のパークロード対応レジスタターなど購入費、観光PRディスプレイ製作委託料 **390万円**

二の丸館はオープンから39日間で、来客数1万2518人、駐車場利用自動車1952台、観光バス16台、かれい祭りを除く利用状況は、1日平均で来客141人、自動車41台、売上2万4180円と報告がありました。

消防本部は特例債

杵築速見消防組合本部の建て替えの財源に、県の助言もあり杵築市の合併特例債を利用することになりました。そのため今年度の負担金が減額になりました。

総事業費は約9億円ですが、合併特例債の利用で、町の負担は総額で約2億円の減額になります。

辻畑氏銅像設置

ホテルソラーージュ大分・日出オーブンにもない設置されていた彫刻家辻畑隆子氏製作のねりんピック記念銅像が寄贈され、その設置費用を計上しています。 **49万円**

農業振興

大分県立農業大学生(2名)に奨学金 **12万円**

子ども手当支給

制度設計が決定したことで児童手当

を減額、子ども手当を増額します。

6月11日支給分

1億9240万円

(人数は2カ月分の延べ人数)

3歳未満第1子	644人
第2子	514人
第3子	267人
人数計	1425人
支給額	1853万円
3歳以上第1子	2196人
第2子	1670人
第3子	528人
人数計	4394人
支給額	5712万円
中学生	627人
第1子	423人
第2子	54人人
第3子	50人
人数計	1435万円

歳入の補正

総合計で6923人に9千万円支給されました。また子ども手当と同時に21年度2・3月分の児童手当3935万円が5905人に支給されました。

子ども手当と児童手当の事業変更にともなう国・県の負担金を調整し、各事業の実施にともなう国・県支出金の追加計上を行っています。また、まちづくり基金繰入金を追加計上し、財政調整基金減額で財源調整しています。

特別会計補正予算

専決処分された21年度一般会計補正予算、21年度老人保健特別会計補正予算、21年度土地区画整理事業特別会計補正予算を審査の結果承認、また22年度老人保健特別会計は、医療費の精算にともなうもので可決しています。

議会改革・活性化の推進



5月14日議員全員参加で津久見市議会に、予算委員会の運営について視察研修を行い、活発に意見交換がされました。日出町独自の予算審議の確立に向け、今後も懸命に取り組んでいきます。

議会改革調査特別委員会を新たに設置

日出町議会ではこれまで定数削減、一般質問の時間延長や対面式への変更、予算常任委員会の設置などの議会改革に取り組んできました。しかし、ますます進展する情報化や地方分権推進のなかで、新しい時代にふさわしい、よきリーダーとして、議会の役割とその機能が十分に発揮されることが、より求められるようになりました。そこで、議会の公平・透明性を確保し、町民に開かれた議会、町民の意見を反映させる議会を目指し、また、増大する行政需要と厳しい財政状況との整合性を図りながら、分権型社会に適合できる体制を構築するために、議会運営のあり方について議会が自ら改革の方向を検討する「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

議会改革調査特別委員会

委員長	笠置	久夫
副委員長	佐野	故雄
委員	佐藤	克幸
	熊谷	健作
	上野	公則
	森	昭人
	工藤	健次

これまで実施している議会改革

- 質疑・質問は、対面方式
- 予算常任委員会
 - ・一般会計・特別会計の各予算を審議する。
 - ・構成員は、議長を除く15名
- 決算特別委員会
 - ・9月定例会において組織し、開会中に結審する。
 - ・構成員は、議長及び議会選出の監査委員を除く14名
- 議会選出の監査委員の任期は2年
 - ・従前は議員の任期
- 議長の常任委員会
 - ・議会の同意を得て、常任委員会を辞退する。
 - (フリーで各委員会に出席し、発言するため)

常任委員会

総務

65歳未満給与所得者の年金所得

日出町税条例の一部改正（専決処分） 地方税法の改正に伴うもので、主に、個人住民税において、公的年金からの特別徴収制度の対象とならない65歳未満の公的年金などにかかる所得を有する給与所得者は、公的年金などにかかる所得割額を、給与所得にかかると同等の割合で、給与所得にかかると同等の割合で加算して、給与から一括特別徴収することができるように改正するものです。

日出町税条例の一部改正 これも地方税法の一部改正に伴うものですが、子ども手当の創設とあいまって、16歳未満の年少扶養親族に対する扶養控除が、所得税は23年度分から、住民税は24年度分から廃止されますが、こうした扶養控除見直し後も、個人住民税の非課税

限度額制度などに活用するために、扶養親族に関する事項を把握できるように所要の措置を講ずるための改正を行うものです。その他、たばこ税の税率の改正、また非課税口座内の小額上場株式などにかかる配当所得および譲渡所得などの非課税措置が導入されることに伴う改正などを行います。

職員の勤務に関する改正

職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給与から控除できるものを定め、また、勤務1時間あたりの給与額の算出基準を改めます。さらに1月に60時間を越えて勤務した場合の、時間外勤務手当の支給割合を定めるものです。

職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正 労働基準法の一部改正に伴い、給与を受けながら職員団体のために活動できる、年次有給休暇、休日、休職の期間の場合に加え、



条例改正案を審議中（総務常任委員会）

1月60時間を越える時間外勤務に対して取得する時間外勤務代休時間を追加するものです。

職員の育児休業などに関する条例の一部改正 関係する法律の一部改正に伴い、育児休業取得条

件、育児短時間勤務条件を緩和するため、条例の一部改正をするものです。

職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部改正 育児を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限の強化、1月60時

間を越えた勤務時間に対して、手当の支給に代えて、時間外勤務代休時間を指定することができることを定めるものです。

産業建設

口蹄疫対策

農林水産課より口蹄疫対策の現状と今後の方針の報告を受けました。また、猪の被害対策を尋ね、現状のワナ13基を10基追加する予定との回答です。

高校跡地の活用

商工観光課から高校跡地の利活用は、現在複数の企業から賃貸契約での進出の提案が出ていると報告がありました。

また、町長からの山荘は増改築するため、町の指定文化財にとどめたいとの意向を示されました。しかし、購入の時の国、県の文化財指定を目指すという発言と矛盾することや、生涯学習課では国、

常任委員会

社会厚生

国保条例の改正

地方税法の改正に伴う



万全な対策を（口蹄疫対策）

県の指定に向け作業中であることなどから、町長の発言の真意を再度確認する必要があります。さらに運営方法も未定であり、今後の当委員会で詰めていきたいと考えています。

もので、医療分上限額を47万円から50万円に、後期高齢者支援金分上限額を12万円から13万円に改正します。

また、特例対象被保険

者などにかかる、国民健康保険税の課税の特例を措置するものです。要件を満たすと、離職日の翌日の属する年度の翌年度末まで、前年の給与所得を100分の30として、算定します。

子ども医療費を助成

未就学児までの入院・通院にかかる医療費の助成を、小学生および中学生の入院にかかる医療費助成までに拡大します。

請願書を採択

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択に関する請願書が提出されました。

子どもたちに、教育の機会均等と教育水準の維持向上を保障することは、きわめて重要なことです。教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。趣旨を同意し、採択しました。内閣総理大臣などに意見書を提出します。

施設を巡視

日出町学校給食共同調理場・致道館・萬里図書館の視察を行いました。特に給食センターでは、手狭であり、老朽化もめだち学校給食衛生基準に適合していない所もある

と説明がありました。部分的な施設の改善も必要でしょうが、早急な施設の移転・建替えを強く要望しました。また、致道館でも、今にも倒れそうな門を早急に改善するよう、要望しています。



早急な改善を求めます（致道館の門）

一般質問

Q&A ここが知りたい



熊谷 健作 議員

問 はじめに交付金ありきの事業ではないですか

答 計画にそっています

問 高校跡地の道路から二の丸館の建設、的
山荘の購入などの事業は、
「外部の意見か、町長独自の判断なのか」町民の側からわからない。まちづくり交付金事業のメニューから選択したとしか思えないが、町の主要施策、特に新規事業を形成する際、どういった手順で決定されていますか。

町長 18年度に策定し議会にもご承知ただい



閲覧室が欲しいです（萬里図書館）

た、第4次総合計画に基づき、町の目指す方向を定め、具体的に事業を進めています。どの事業も議案や予算として提案し、議会の議決を経て実施しています。

問 的
山荘や二の丸館は町長退任後も、にぎやかなまま繁盛していると考えていますか。それともその時の町長や職員は維持費だけでも大変で負担になっていると考えませんか。

町長 お城周辺の施設整備は、観光や交流の場として最低限の施設を設置することで、町の特性を十分生かし、将来に町の遺産を引き継いでいくということも考えています。町の将来のために必ずプラスになり、展望を

開いてくれるという思いで、事業をさせていただいています。

問 二の丸館の周辺には小中学校、幼稚園があり、観光客や車が多く来たとき、児童、園児の安全確保は考えていますか。子どもがが一番で、しっかりとした対策をしていただきたい。

町長 全体景観を考えながら生かすものは生かして、守るべきものは守って、町政の振興と教育の振興という観点から努力していかなければならないと考えます。教育環境をいかに守っていくか、精一杯努力させていただきます。と思います。

問 中央公民館、体育館、萬里図書館の改築のため、基金をつくらなければならないと考えます。特に書架を増やすことができず、閲覧室もない萬里図書館の現状をどう思われますか。

町長 公民館は舞台を改め、照明を明るくし、いすを替え、体育館は内装を改め、電球を替えて、精一杯努力しています。

図書館は2階部分を閲覧室として開放できないかなど不適切な部分は再検討するようお願いしていますが、実際にできていないことは、私に責任があると思います。健全財政を維持しながら、できるだけ環境の整備に努力したいと考えます。

問 町民の皆さんが何を望んでいるか頭のなかで描きながら、将来に向け町政運営をしていただきたいと考えます。町の将来像をどのように描いていますか。

町長 町が合併しないでよかったという思いがもてるような、自立する町を形成していくことが大変重要だと思えます。また、町民の皆さんが自信を持ち、誇りに思えるような町をつくらせていくよう、努力をさせていただきます。と思います。

質問を終えて

町長として必要なのは未来への想像力と、町民と夢を共有すること。そのためには町民が希望を持てる政策を。

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員

問 口蹄疫対策に
万全を

答 対策本部を
設置しました

問 宮崎県で発生した口蹄疫は宮崎県各地にひろがり約20万頭の牛豚が殺処分されました。農家はもちろん、園芸農家や食肉業者にも被害がひろがり、畜産農家だけの問題ではなくりました。大分県では発生していませんが、畜産農家は、いつ発生するか不安な毎日を送っています。町内の畜産農家に発生させないため、どのような対策を行っていますか。

農林水産課長 現在、

町内で飼育されている牛は乳牛624頭、肉牛267頭で計900頭、豚は5700頭です。生産者には、飼養家畜の異常の有無や子牛の市場の閉鎖に伴う意見・要望などの聞き取り調査を実施しています。県境の防疫対策の徹底や消毒用の消石灰の配付などの要望が寄せられています。

問 さらに町でも対策本部を設置することや、町独自の特別な財政措置を講じ、関係者の要求にそって、財政支援を行うことを考えていますか。

また畜産農家の相談にのり、牛、豚の衛生管理や防疫に関する適切な指導や助言を、タイミンが良く行っていたいただきたいと思えます。

農林水産課長 対策本部は6月11日に設置しました。

財政措置は、既に予備費の充用により、生産者に対し飼料、消毒薬、関係者以外の立ち入りを制限する看板などの配付を済ませています。

日出小学校前の水路の取り壊しを

町長 対策本部を立ち上げ、役割分担を明確にし、家畜保健衛生所、東部振興局と一層の連携を図り、JA各機関にも連絡することとしています。予算は今のところ、予備費で80万円執行しています。

問 水路について住民からの意見では、建設に強い怒りを持っています。この水路は、どのような目的で作ったのですか。



憩いとなごみの場となりますか？（日出小学校前の水路）

都市建設課長 水路の目的の一つは、道路および周辺土地からの雨水の排水施設として、二つ目は陽谷城周辺の歴史的なまちなみの形成を図る中で、訪れる人々が憩い、なごみの場となるような親水機能を持たせ、本町が誇る良質な湧水の豊かさをアピールするためです。

問 学校の近くであり、子どもたちが、事故に遭つことを考えたことはありますか。

都市建設課長 安全性

は、水路を取り巻く全体整備の中で検証しながら確保していきます。現状の水路頭部の凹凸や道路歩道との段差は早急に解消します。

問 ポーリングして水を流すのですか？

都市建設課長 当初は浅い位置でのポーリングを計画していましたが、調査の結果、湧水量が少ないのが分かりましたので、雨水や上水をポンプによって循環させる方法を検討しています。

問 今後の維持管理費はいくら必要ですか。

都市建設課長 維持管理費は現在調査中ですが、水の循環施設は180万から200万円かかります。

問 これらの問題を含んでいる水路を取り壊す考えはありませんか。

都市建設課長 取り壊しは考えていません。※その他に農水産物の加工施設の質問もありました。

質問を終えて

町長は日出小学校前の水路施設について、住民の意見をよく聞き、取り壊す勇気を。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 保健福祉センターに温泉を

答 町内既存施設の利用を



後藤 佑議員

問 平成14年に保健福祉センターに温泉の泉脈があるか調査をした経緯があると思いますが、結果はいかがですか。

福祉センターの有効利用や町の活性化を考えれば、天然の温泉を掘削し健康で長寿な町づくりに貢献できると思います。町内の温泉好きな人達は別府や山香で入湯しているし、現在すべての施設



施設の有効活用を（保健福祉センターの浴場）

が有効活用していると思えず、温泉を掘削し町民が集えば、センター活性化につながるのでは。

福祉対策課長 掘削候補地は保健福祉センター

敷地の北西部が最も可能性は高いですが、お湯の量がどの程度か不明であり、掘削工事費約1億円、予想温度は地表で36℃程度との試算が出ています。

敷地の北西部が最も可能性は高いですが、お湯の量がどの程度か不明であり、掘削工事費約1億円、予想温度は地表で36℃程度との試算が出ています。

課題として、建設する施設にもよりますが、施設整備費、維持管理費など相当の経費が必要です。他の温泉施設、水源への影響も考慮し、現在開発は検討していません。

なお、町内には大規模温泉施設が有り、町内外あわせて14万人の方々が利用しており、今後とも町内の既存施設の利用をお願いしたいと考えています。

現在入湯税の収入はいくらですか

問 町内の入湯税は

年間いくらか入っていますか。福祉センターに温泉が入ると、社会福祉協議会もいろいろな行事に活用できます。また、温泉がためなら、太陽光発電やエコキュートの設置を考えていただき、多くの方々に楽しくお風呂に入ってもらえるようにしてはどうでしょうか。温泉と人間の健康とは切っても切りはなせない縁があり

ます。

町長 福祉センターの温泉調査報告書は15年1月に提出されています。実際の掘削には約2億円かかり、出る保証はないので慎重にならざるを得ないが、開発しないことがむしろ問題。福祉センターにもお風呂があり、1日に3、4人と言ったことで、相当の経費がかかっていたので、現在休止しています。町内にも14地区ほど温泉が利用されており、町としても挑戦すべきか、今後の課題になります。

税務課長 正確な決算見込みの数字がありますので、報告させていただきます。21年度決算見込み2196万4350円です。

質問を終えて

多額な予算が必要ですが長い目、町民の健康を考えると「町民の温泉」に努力してもらいたい。

一般質問

Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員

問 中学校の武道必修化の取り組みは

答 柔道の選択を考えています

問 24年度から武道必修化が実施されます。柔道、剣道、空手、弓道、合気道、なぎなたなど多くの種目がありますが、何の武道が導入されるのか注目しているところであります。今の取り組みの現状はどうなっていますか。

答 24年度から完全実施される新学習指導要領において、わが国固有の伝統と文化に一層触れることができるよう、柔道、剣道、相撲の中から一つを選択し、1、2年生では男女すべての生徒に、3年生では選択として履修されることとなっています。

学校教育課長 来年度は移行措置期間にあたりませんが、試行期間は設けず、来年度の1年生から順次導入していく予定にしています。

種目は、武道場の有無、防具や道着などの保護者負担、また保健体育の先生の指導力等を勘案して検討した結果、現在のところ日出中学校、大神中学校では柔道を選択することとなっています。南端中学校は、現在検討しているところです。

指導上の問題は、指導者と場所です。指導者である保健体育の教員は、専門的な指導力となると課題はありますが、教員免許を取得する際に大学でも必修で履修していますし、県教育委員会が毎年開催しているさまざまな講習会に積極的に参加することにより、指導力の向上に努めていきます。

また、場所の問題は、畳を町の予算で購入し、体育館のフロア上に畳を敷いて実施する方向で検討しているところです。柔道着の購入には6千円ほどかかりますが、兄弟、親戚、近所からの譲り受けももちろん可能ということで、保護者負担の軽減に努めてまいりたいと考えています。

福祉バス導入に向けて検討委員会の設置を

問 3月議会の答弁で、「検討しているが、二三の課題が残っている」とありましたが、この課題とは。

企画振興課長 17年11月に検討しましたが、このときは一部有償運送事業者の協力が得られず、福祉有償運送を断念しています。この協力が得られないということが、1つの大きな課題になっているところです。

問 導入に向けて内部の検討ではなく、行政・バス・タクシー会社・有識者などで早急に検討委員会を設置していただきたい。

町長 福祉バスを運行する場合には、陸運局の許可を必要とし、その許可を得るための前提条件として地域の方、バス・



伝統と文化に触れます（日出町柔剣道場）

タクシー関係者が協議会をつくって、そこに全員が協力を必要になります。今、協議会をつくっても同意がいただける見込みがありません。しかし、もう一度会議を開いてみて、関係者に協力を求め、バスあるいはタクシーの同意が得られれば福祉バスの運行は可能になります。福祉バスを導入すればタクシー会社の収入源

質問を終えて

武道の種目の決定後は関係者に早目の連絡を。

を侵すことになるなど、困難な面がありますが、問題は地域の皆さん方の足の確保をいかにしていくかということに尽きると思います。今後とも引き続き努力させていただきます。と思います。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 路線バスは現場のニーズに
応えているか



池田 淳子 議員

答 効率的な運行形態並びに
交通体系の検討を行って
いきます

問 足の確保という
点で調査をしたところ、
日出町の路線バスの運行
状況は、費用対効果も薄
いなどから見直すべきで、
路線の変更も含め先ずは、
現状把握、ニーズ把握か
ら始めていただきたいと
思いますが、どのように
考えていますか。

答 今後、バス事業者や民
間交通事業者を含め関係
機関と連携をとりながら
ニーズの把握を行い、効
率的な運行形態並びに交
通体系の検討を行っていき
たいと考えています。

問 デマンド交通シ
ステムを取り入れた自治
体は、大変好評を得てい
るようで、バスだけでな
くタクシー業界も参入し
お互いに協力をしてみん
ながよい方向で運行して
います。デマンド交通シ
ステム導入の計画はあり
ませんか。

答 デマンド交通シ
ステム導入の計画はあり
ませんが、バスだけでな
くタクシー業界も参入し
お互いに協力をしてみん
ながよい方向で運行して
います。デマンド交通シ
ステム導入の計画はあり
ませんか。



交通弱者に対する対策を（路線バス）

問 日出町のホーム
ページは、ワンクリック
が必要な情報源にたどり
着けるようになっていな
いので、予算、決算、財
政情報等を開示するなど
もっと充実させて町民の
利用を促進させていきま
す。

答 視点を立った利便性を。
総務課長 現在のホ
ムページは、ご指摘の通
り申請書類や予算等の財
政状況が1つのページに
整理され、ワンクリック
でたどり着くようにはな
っていませんし、町民の皆
さんが直接声を届ける画
面もトップページにはな
く、町政のページに掲載
をしています。

質問を終えて
早急に現状把握・ニー
ズ把握・プロデュース
の3つを、地域ごとの
生活行動に即して行い、
意義ある交通手段を

一般質問

Q&A ここが知りたい



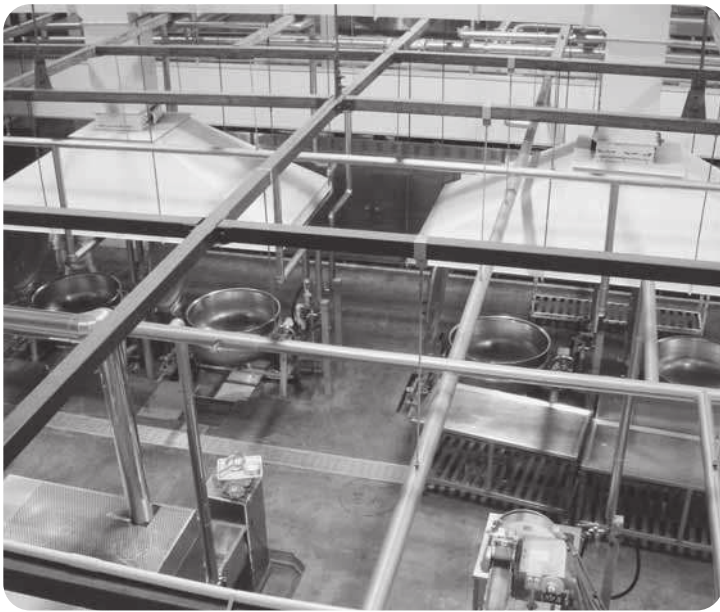
森 昭人 議員

問 給食費の公会計で安定した給食提供を

答 十分検討させていただきます

問 給食費を一体的に管理し、適正な学校給食会計の運営と事務の透明性、品質向上と公平な給食の提供のため、一般会計で予算を組んで徴収業務も町が行い、決算を行う、給食費の公会計に取り組んでほしい。

教育総務課長 現時点では移行させる考えはありませんが、会計のあり方、どうすれば安心・公平で計画的な運営ができるかなど、他市町村の状



安心・安全な給食を（給食センター）

況も十分勘案しながら、今後、教育委員会内部で十分検討させていただきます。

問 現在の給食会計は、未払い分や引落しできない分の口座振替手数料、次年度のために確保せざるを得ない余剰金に相当する額などが原因で、食料費が減らされていると理解しています。未収入があっても満額予算とおりの品質・数量を購入でき、保護者や子どもたちに不利益のない公会計

方式を検討していただきたい。学校設置者である町長の考えは。

町長 引落せない分の手数料や不納欠損分、食費に行くお金が減っているのは、言われるとおりですが、公会計にする料金を私どもが議会で決めることになり、食材は保護者が負担するという考え方を通せば、やはり原則に立ち返らないといけないと思います。ただ、料金の設定などは保護者の皆さんが決め、便宜的

問 町では民間委託が協議され、学校給食運営委員会にもお話をしたと聞いています。配送部

給食民間委託は協議をオープンに

にお金を公会計扱いにする方法があるかないか検討させていただきたいと思えます。

問 昭和59年改築した現在の給食センターは、建物は耐震基準にも達しておらず大変老朽化しています。安心安全な給食のため、建替えを含め改善が必要だと考えますが、

教育総務課長 築後26年が経過し、現在の学校給食衛生管理基準を満たしていない部分もあり、早急な施設の抜本的改善が必要であると認識しています。財政的に大変厳しいなか当分の間、部分的な改修を検討し、現在設備や必要な工事の見積りを依頼しているところです。全面改築は今後の課題とさせていただきます。

給食センターの改築・改善

質問を終えて 公会計方式は、法的に問題はない。学校設置者である町長が主体で早急に取り組むべき。

門は問題ありませんが、調理部門の委託は賛否両論あり、その内容をしっかりオープンにし、慎重に審議されなければなりません。現在どのように協議されていますか。

教育長 最初から民間委託ありきということでは話をしていません。民間委託の方向を探っていくなかで、解決をしなければならぬ問題は何かということ洗い出していきたいと考えています。

町長 町長になってから6年間、民間委託の方向で考え、組合交渉のなかでも職員の身分保障について説明してきました。また民間委託でも、献立や食材は教育委員会の職員が受け持つので衛生面の問題はなく、給食費も高くないかと思っています。私の方向は定まっていますが、施設は教育委員会の管理下にあり、その動向を大いに注視しているところです。

町民の声

「心の通いあう地域づくり」

豊岡新町区 三原勝代



豊岡地区婦人会の歴史は古く、戦後まもない混乱した時期に、郷土再建、婦人の地位向上にと地域婦人の力を結集し結成され、今年で六十五年になります。

これもひとえに、町行政の皆様のご支援、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

活動といたしましては、町のイベントへの参加「城下かかれまつり」「日出産業文化祭り」「ザビエルの道ウォーキング大会」「豊岡地区ふるさと祭り」「魚見桜祭り」などトレードマークの赤いエプロンを見かけないと寂しいと言われるようになりました。

七十五歳以上の独居の方に、一年に一回お弁当を作って十年間届けさせて頂きました。前もってご案内を差し上げていますので、配達に行く時間には、玄関をあけて待っていて下さる方、お礼の手紙を用意していただく方など、お届けする私達もうれしくなります。

豊岡地区公民館では、放課後子ども教室を、各団体の連携で毎日開催しています。婦人会は、五日間のうち、月曜、火曜、木曜日の三

日を受け持ち、子ども達を見守っています。その中で、最近家庭では、体験することが、少なくなってきた日本の伝統行事を、季節毎に行っています。一月の「新春カルタ大会」から始まり「節分」「ひなまつり」「花まつり」「端午の節句」「七夕まつり」「お月見」等、

その毎に、子ども達と一緒に、柏餅、やせつま、お月見団子作りを楽しんでいます。

『交通安全母の会』としての活動では、年四回の交通安全週間の時、登校時の街頭指導、ふるさと祭りでの交通安全祈願の餅まき、また、『日出町日赤奉仕団』としては、募金活動、防災、家庭看護学習等研修を重ねています。

今後も、会員の生涯学習はもとより、日出町の地域婦人会として関係機関、他団体との連携を図り地域に根ざした活動で『心の通いあう地域づくり』をめざして参りたいと思っております。

最後に、このように幅広い活動をしています地域婦人会が昔のように、各地区に芽ばえてくれることを切に願ってやみません。

相原 正和氏(74)
(日出本町)
白水 昭義氏(72)
(川崎西小深江)

- 1日 定例会(本会議)
- 3日 定例会(一般質問)
- 6日～7日 常任委員会(予算)
- 8日～15日 特別委員会(決算)
- 16日～17日 常任委員会(所管)
- 17日 特別委員会(議会改革)
- 21日 常任委員会(予算)
- 特別委員会(議会報)
- 27日 定例会(本会議)

前号で新人議員の登竜門であると紹介された「議会だより」の編集に携わり、議事録から一般質問の意味を変えず正確に伝え、しかも、1ページに収めるように編集します。自身の意識も入っていますが、どのように変えたか、編集したのか議会での質疑はホームページに記載されるので、ご覧ください。パソコンをお持ちでない方も本庁舎ロビーにある日出町ホームページ議会情報をご覧くださいませ。ご意見や要望を議会事務局や議員へお寄せ下さい。編集委員の一員として、見て、読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。

(藤井 博幸)

編集委員長 森 昭人
副委員長 池田 淳子
委員 熊谷 健作
委員 上野 公則
委員 工藤 健次
委員 藤井 博幸